



Student-Centered English Education

総合教育センター

講師 黒飛ローラ（くろとび ろーら）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 2512 号室

E-mail kurotobi@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野: English Education, CALL, Multilingualism, Classroom Culture

キーワード: English, CALL, Anthropology, Culture and Education, Bilingualism

● 現在の研究について Current Research

私の研究では、教育と文化を結びつけることに焦点をあてている。学生中心の教育を行うためには、授業の環境が学生や教員に与える様々な影響を理解することが重要である。特に、帰国子女や保護者が日本人でない学生などのマルチリンガル及びマルチカルチュラルな学生の必要性やそのような学生の日本語の授業での経験について焦点をあてる。

また、CALL についても焦点をあてている。スマートフォンのような簡単に扱える技術の進展に伴い、教員は授業の内外でより多くの学修環境を生み出すことができるようになった。スマートフォンのアプリなどを利用することにより、授業における学修経験が広がり、個々の学生の学修を促進し、管理することができるようになった。しかし、スマートフォンの最善の利用方法を見出すことはもちろん、この恩恵について、学生、教員、保護者に伝えることも重要である。スマートフォンは便利なツールである一方、誤って利用されたり理解されたりする可能性もある。このことにより、スマートフォンの価値を下げってしまう場合もある。したがって、私はセミナーを開発し、スマートフォンは、学生にとって有益なツールであることを紹介するとともに、無意味なおもちゃという消極的な認識から教育上有益なツールであるという認識に変化させたいと考えている。

最後に、私は ALT が公立学校において活用されているか、また、どのように最大限活用されているかについても研究を始めている。ALT は、

様々なバックグラウンドや能力を持っているため、日本人英語教師（JTE）には、ALT が何を期待し、どのようにスキルを活用しようとしているかを正確に理解できない。ALT と JTE の両方の側面から現状をより理解できるようにし、ALT の恩恵を最大限活用するためのオンライン研修プログラムを開発したい。

● 今後進める活動について Intended Works for the Future

まず初めに、研究の成果として、教員対象の研修プログラムやセミナーを開発したい。現時点では、言語について特に必要性の高い地域についてこのようなプログラムを開発し、授業の内外において CALL を効果的に活用し、ALT を効果的に連携させ、活用することについて関心を持っている。

加えて、学生が個々の学修経験を増やすために、自分で学修できる CALL を開発したいと考えている。